

<横浜市議員(旭区選出)古川なおきの市政活動報告>

第66号

2007年3月15日
- 月刊 -



古川なおきレポート

古川レポート 編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

マザー・テレサ氏に学ぶ



↑古川事務所も学生たちと協働です！

迷った時は、何か政策上の判断で
時々のことを思い出すようにし
ていきます。純粋に納税者であ
る市民の立場で判断する。常
に自分のような者が市の政策
を判断させていたっていいの
か、謙虚さを忘れていないの
かを自問自答し判断するように
心がけています。しかし、人

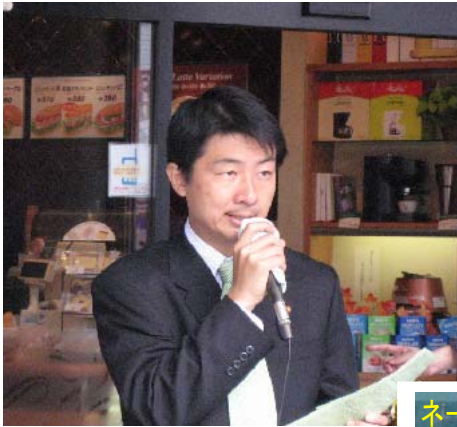
皆様お元気ですか。朝の駅頭市政報告も通算7百
回を超えました。お読みいただいた皆様に心より感
謝申し上げます。
このレポートは、毎回継続して「政治に信頼を取
り戻したい」「多くの方に市政に関心をもっていた
きたい」と思い、正直な気持ちで書かせていただき
ました。私が原稿を書き事務所の印刷機で印刷し、
ボランティアの方々の力をお借りして駅頭やポステ
ィング等で配布させていただきましたが、朝早く起
きて駅頭で一生懸命演説しても、反応が無い時など
は何の意味があるのかと情けなく思ったこともあり
ました。しかし、駅頭で「がんばれ！」の声や目
で挨拶される方、そして何より今こうして私のレポ
ートをお読みいただいている皆様がいることを励み
に、発行を続けることができました。あらためて心
から感謝いたします。
さて、これまで「古川なおきレポート」では自分
で提案した「横浜市コールセンター」「日産スタジ
オのネーミングライツ」、市の重要政策である高
齢者福祉や防犯対策、育児支援、スポーツ振興、受
動喫煙対策、教育改革、議員定数削減など様々な政
策を特集してきました。今回は任期中最後のレポ
ートなので、将来の横浜にとって何が大切なのか私の
考えを述べさせていただきます。いろいろとあると
思いますが、勇気を持って一言で言うならば、それ
は「市政に対する無関心と決別」だと私は思いま
す。言い換えれば市民の皆様一人一人が「市政に関
心を持つこと」が大切だと思えます。旭区には、お
仕事やスポーツ、文化・芸術活動に励んでいる方、
また介護、育児、病気の治療などで苦労されてい
る方もお住まいです。政治なんて関係ないと言っ
ても生活のすべてに関わっているのです。だから、皆
様に市政に関心を持っていただくと思います。

間はいつでも必ずすべて正しい判断ができるとは限
らないのです。それは、私も市長も他の議員も同じ
なので、市民の皆様には政治家に対しては厳しい目
を持ち、日頃から市政に関心を持っていただきた
と思えます。また、議員の側も多くの市民が望んで
いる議員定数10人以上の大幅削減や政務調査費の透
明化など、市民の皆様の見解に絶えず耳を傾けな
ればなければならぬと思います。
ところで、市政に関心を持つということは、そん
なに難しいことなのでしょう。広報よこはまや新
聞の地方版を読むこと、インターネットで地方版の
ニュースをチェックすることなども十分です(古
川なおきレポートを読むことはさらに素晴らしいで
す！笑)。そして、興味を持った政策についての
意見を電話やメールで区役所に伝えてみる。賛成、
反対だけでもいいのです。もちろん思ったことを私
に直接お伝えいただければうれしく思います。
これから本格的な高齢社会を迎え、福祉や医療等
の扶助費は年々増え続けるので、市は厳しい財政状
況の中で、引き続き改革を行っていかなくてはな
りません。そこで、行政だけに任せるのではなく、市
民の皆様のお力を借り、市民と協働して横浜市を
発展させようと中田市長は最初の市政方針を示しま
した。旭区でも、「今宿コミユニティガーデン」な
ど、市の土地に区民の憩いの場として3世代が交流
できる庭を区民の力で誕生させています。今後も福
祉や環境、文化、スポーツ等様々な分野で市民との
協働が盛んになってほしいと思います。「市民との
協働」をしつかりと実行していくためには市民の皆
様が「市政に関心を持つこと」が根本にあります。
無関心からは生まれるものは何もありません。
一九七九年にノーベル平和賞を授賞されたマザー
・テレサ氏は次のように言いました。「愛情の反対
は無関心である」と。無関心ほど惨い行為はないと
いうことです。いじめによる自殺や世界の貧困、環
境破壊、温暖化など社会で起こる様々な問題は、自
分には関係がないという「無関心」や無意識が原因
だと思えます。マザー・テレサ氏の残された言葉の
意味を、今を生きている私たちはしっかりと考えな
ければならないと思います。多くの皆様が市政に関心
を持ち、自立した市民との協働により、旭区からより
良い横浜を創造していくことができるよう私もがん
ばります。ありがとうございました。

横浜市議員

古川なおき





←1日は早朝の駅頭からはじまります



←駅頭では様々なご意見をいただきます



←自分が提案して実現した「横浜市コールセンター」を視察

古川なおき 活動の記録

皆様のお世話になり元気一杯活動することができました！心から感謝いたします。



ネーミングライツが実現した日産スタジアムで



←市本会議で中田市長に質問



←がんばれ！横浜FC



←旭区スポーツダンス大会で挨拶



←インターンの学生たちと



↑J-1昇格！横浜FC奥寺社長と対談



↑希望ヶ丘高校の先輩ワタミの渡邊美樹社長とカンボジアの学校を視察



↑学生たちとサマーキャンプ



↑学生とともに勉強会を企画



↑卓球大会の受付のお手伝い

政治活動費を公開します

政治家自身が自ら情報公開を行わなければ、行政に対して情報公開や民営化を主張する立場にないと思います。また、市民の皆様が信頼できる政治を実現するために、私は年1回この古川なおきレポートで活動費を公開しています。

<2007年古川直季青春の会>

収・個人からの寄附	4,115,211円
入・事業収入（新年会開催収入）	1,398,356円
支・事務所費（光熱水費、消耗品、通信費など）	835,285円
出・政治活動費（交通費、会議出席費など）	4,303,394円
出・研修会費、書籍費、記録資料費	1,233,444円

※古川直季青春の会は古川なおきの政治活動費を取り扱う資金管理団体で、個人からの寄附を受け入れています。確定申告の際には所得控除が認められています。詳しくは古川事務所までお問い合わせください。ご支援をいただける方がいらっしゃいましたら下記へお願いします。

横浜銀行二俣川支店（普通）1347667「古川直季青春の会」
郵便局00240-3-92538「古川直季青春の会」



動画が見られる携帯サイトをご覧ください！

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 38才
県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
横浜銀行勤務後、議員秘書となる
平成7年横浜市議員初当選(26才)
平成18年度市民活力推進・教育委員会副委員長
同 青少年市民スポーツ特別委員会
自民党横浜市支部連合会青年局長
日本動物福祉協会横浜支部支部長

鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
旭区スポーツダンス協会顧問
旭区サッカー協会顧問
学校法人 八洲学園 理事
NPO法人スクール・エイト・ジャパン 理事
卓球本間クラブ所属
横浜青年会議所(JC)
明治大学公共政策大学院在学中